

科目名	言語教育と情報 I (著作権含む)
授業の目標・ねらい	コンピュータやインターネットは、生活の中ではすっかり身近なものになりました。この授業では、コンピュータやインターネットを日本語教育で取り入れるための基礎的な理論と知識を理解します。また、関係する著作権についてもふれます。
授業内容・授業方法	日本語教育にコンピュータとインターネットを取り入れるために必要な基本的な理論と知識を知り、実際に授業にどのように取り入れるかを考えてみます。 1.なぜコンピュータとインターネットを授業に取り入れるのか(用語説明) 2.語学教育でよく使われる ICT について 3.インターネット上にあるコンテンツや素材利用についての注意 4.インストラクショナルデザイン入門
予習・復習	パソコンを普段使わない人は、マウスの使い方やキーボードの入力など、基本操作を確認しておいてください。
使用テキスト	
参考書等	『教室への ICT 活用入門』藤本かおる 国書刊行会
講師	藤本かおる
所属	
研究分野	教育工学、遠隔教育、教育への ICT 利用、日本語教育とサブカルチャー
講師紹介	遠隔教育での語学学習、特にコンピュータやインターネットをどのように語学学習に利用するかを研究しています。これまで、台湾やインドなどの日本語学習の機会を持たない学習者と遠隔で日本語教育を行ってきました。企業の外国人向けの e ラーニングの開発と運営、最近では、反転授業での日本語授業の実践研究を行っています。